

10 家庭

科目名	生活と福祉	単位数	2 単位	学年	第 3 学年	科 コース	総合生活科 生活文化
使用教科書	実教出版「生活と福祉」			副教材		学習ノート	

学習の到達目標

高齢者福祉に関する法規や制度・サービスについて理解させ、介護予防の考え方にもとづき、自立生活支援と介護に関する基礎的な知識と技術を身につけることを目的とする。

学習計画

	月	単元	学習内容及びねらい
一 学 期	4	第 4 章 高齢者支援の法律と制度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化の進展状況を把握し、高齢社会に対応した社会保障や社会福祉制度を理解する。</li> <li>・近年の介護予防の観点から高齢者の健康や生活を地域で支えるための高齢者福祉サービスについて理解する。</li> <li>・高齢者を地域生活で支える、さまざまな社会資源について理解すると共に、そのあり方を考察させる。</li> <li>・施設サービスの内容を理解すると共に、施設での利用者の生活の様子や職員の仕事内容などについて理解する。</li> </ul>
	5	3 節 高齢者支援と地域包括ケアシステム	
	6	第 5 章 介護・看護の実習と生活支援	
	7	3 節 生活支援 高齢者福祉施設の見学	
二 学 期	9	第 5 章 介護・看護の実習と生活支援 1 節 介護の実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者にみられる心身の変化に対応した体位交換、歩行介助、車いすの移乗・移動、食事、衣服の着脱方法など基本的な介助の要点を理解する。</li> <li>・家族が病気になったときの基本的な看護の心構えを理解し、体温・脈拍・呼吸・血圧測定など看護の基本的な技術を習得する。</li> <li>・高齢者が地域で自立した生活を送ることができるように、調理、衣類の洗濯や補修、掃除など生活援助に関する技術を習得する。</li> <li>・高齢者にかかわる消費者問題についての対応や防止方法を理解する。</li> <li>・レクリエーションの意義と目的を理解する。</li> </ul>
	10	2 節 看護の実習	
	11	3 節 生活支援	
	12		
三 学 期	1	※手話を学ぼう	<ul style="list-style-type: none"> <li>※聴覚障害者とのコミュニケーションのひとつの手段である手話を通して、相手を思いやる心・コミュニケーションの大切さについて実習を中心に学ぶ。</li> </ul>
	2		
	3		

学習評価

1. 定期試験・小テスト・課題の提出状況・授業態度などを総合的に評価する。